

# 山協議員の一般質問



## 市長答弁「市民の信頼と信用の回復に務める」

### 米原市民報

日本共産党米原市会議員  
山協正孝 Tel.52-1093  
日本共産党米原市会議員  
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>



今回の6月定例会での山協議員の一般質問の概要と市当局の回答を報告します。テーマは「生活保護業務検証委員会の検証結果をどう活かすか」です。

### 再発防止へ確実に実行する

#### 検証結果について市長が所感

Q、検証結果についての市長の所感は。  
A、検証委員会の事案では、市民の皆さんに多大な御迷惑をおかけし、市政への信頼を大きく損なうことになりました。この場をお借りしまして、改めて深くお詫びを申し上げます。

裁判の中で、様々な背景がその原因となっていて、とが、指摘されました。

私は、こうした事実を重く受けとめ、生活保護業務における不祥事の背景、そして問題点および課題を客観的かつ公正な第三者の立場から検証いただき、米原市役所の職場、そして組織に何が欠けていたのか。

大事な職員を二度と失わないために、市長である私は何をすべきかを厳しく、ご指摘いただくために、検証委員会を設置させていただき、そして、3月に答申をいただきました。

検証におきましては、生活保護行政に対する課題、不当要求への不適切な対応、職員のメンタルヘルス対策や人事管理に対する課題など、数多くの指摘を受けました。その改善に向けての様々な提言をいただきました。職員が一丸となって、二度とこのようなことが起

こらないよう、この検証結果と、その提言内容を踏まえて、再発防止対策を確実に実行し、市民の信頼と信用の回復に努めて参りたいと思います。

### 仕事の分担が明確にされず

Q、Aさんの厳しい勤務状況に至った認識と背景は。

A、当時、同僚のケースワーカーが病気休暇を取得したことにより、当該職員は、本市のケースワークを1人で担当することになり、大きな負担であったと証言しております。当時、課としては、業務の一部を分担し、業務の軽減を図ったとの認識でありましたが、明確にケースを分担しているとは言い難く、本人の認識との相違が指摘されました。

### 人材確保は困難だが確保に務める

Q、福祉専門職の採用、配置を。

A、福祉専門職の採用は大変重要であると考えており、福祉専門職の募集を行っているところであります。応募される人員も少なく、人材確保が困難な状況下ではありま

### 65以上の高齢者のケア

Q、不祥事を繰り返さないために65世帯に1人のケースワーカーの配置を。

A、法律上におきましては、市は、80世帯に1人の配置基準となっております。本市は、4町の合併により市となつていることを踏まえ、65世帯に1人の配置を提言

### 条例の制定を準備

Q、不当要求への対応で公正な職務執行の確保条例制定を。

A、不当要求行為等に対しては、毅然とした態度で臨む、個人で抱え込ませない、組織で対応することが重要であると考えております。この条例制定については、令和5年第1回定例会での提案に向けて現在、準備を進めているところであります。

### 悩みや意見を課題解決に

Q、職員の自己申告書、診断書への扱いの適正化を。

A、申告書に記載された職員の悩みや意見は、各部署の責任者が共有し、その問題解決に取り組んで参ります。また、診断書の取扱いについては、職員から提出があれば、所属長を通じて、速やかに総務課に提出されるべきものでございます。

### 指摘事項を進行管理

Q、メンタルヘルス対策の強化について問う。

A、職員に変化が見られる場合は、速やかに、総務課に連絡していただくように、各所属長に周知しているところであり、各所属からの連絡や本人からの申出に応じて、現在も随時、総務課で個別相談に応じているところです。今回、検証委員会から提言をいただきました指摘事項について、着実に実行できますよう、総務課でも進行管理を行うなど、再発防止に努めて参ります。